

令和8年3月6日(金) 東京都港区虎ノ門の「ニッショーホール」において、第78回日本消防協会定例表彰式が開催されました。式典では、永年にわたる消防団活動に尽力し、顕著な功績を挙げられた団員等に対し表彰が行われ、全国各地から多くの関係者が出席しました。

また、引き続き同会場にて全国消防団大会講演会「これから消防防災活動の展開について」が開催されました。講師には、神戸大学名誉教授の室崎益輝氏および兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授の阪本



第78回 日本消防協会定例表彰

真由美氏を迎えました。

近年、地球環境の変化等を背景として、日本国内のみならず世界各地で、これまでと様相を異にする大規模災害が頻発しています。こうした状況の中、地域防災の要である消防団が果たすべき役割や、今後どのような視点を持って活動を展開していくべきかについて、それぞれの専門的見地から示唆に富む講演が行われました。参加者は、変化する社会環境の中で地域を守る責務の重さを改めて認識するとともに、今後の活動の在り方について理解を深めました。

青森県内消防団の表彰受章者は次のとおりです。

日本消防協会 表彰受章者

優良消防団 (表彰旗)

八 戸 市 消 防 団

優良消防団 (竿頭綬)

む つ 市 消 防 団
深 浦 町 消 防 団
南 部 町 消 防 団

功績章 (十七名)

横浜町消防団 団長 沖津 賢一	新郷村消防団 団長 崩 弘幸	十和田市消防団 団長 須田山 俊一	弘前市消防団 団長 田中 誠一	田子町消防団 副団長 中山 喜仁	南部町消防団 副団長 日渡 久人	平内町消防団 副団長 工藤 政道	八戸市消防団 副団長 鎌田 視久	田子町消防団 副団長 川端 文雄	六ヶ所村消防団 副団長 木村 勝行	つがる市消防団 副団長 工藤 寛	平内町消防団 副団長 會津 丞	板柳町消防団 副団長 中野 昌勝	弘前市消防団 副団長 鎌田 信悟	南部町消防団 副団長 島守 良男	平川市消防団 副団長 西谷 公志	青森市青森消防団 副団長 石井 聡子
-----------------	----------------	-------------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--------------------

精績章 (三十九名)

平川市消防団 副団長 成田 一之	今別町消防団 副団長 相内 昭則	横浜町消防団 副団長 飯田 一志	青森市青森消防団 副団長 柳谷 聡	青森市青森消防団 副団長 鹿内 克之	平内町消防団 副団長 井筒 栄一	野辺地町消防団 副団長 柴崎 順悟	佐井村消防団 副団長 川野 年明	中泊町消防団 副団長 角田 昭博	南部町消防団 副団長 夏堀 外志生	外ヶ浜町消防団 副団長 嶋中 歩	青森市青森消防団 副団長 石岡 義央	五所川原市消防団 副団長 田中 憲仁	十和田市消防団 副団長 山田 博	五所川原市消防団 副団長 三和 覚	弘前市消防団 副団長 花田 博之	中泊町消防団 副団長 長利 元治	田舎館村消防団 副団長 田澤 隆	新郷村消防団 副団長 平霞 雄市	十和田市消防団 副団長 工藤 惣史	弘前市消防団 副団長 林崎 孝人	五所川原市消防団 副団長 前田 専	つがる市消防団 副団長 佐野 清一
------------------	------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	--------------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------



六ヶ所村消防団 副団長 中村 久雄	鯉ヶ沢町消防団 副団長 今 勝義	青森市青森消防団 副団長 工藤 光義	鯉ヶ沢町消防団 副団長 八木澤 健一	むつ市消防団 副団長 佐藤 時男	平内町消防団 副団長 飯田 国弘	おいらせ町消防団 副団長 堤 一秀	三戸町消防団 副団長 山下 昭	むつ市消防団 副団長 工藤 和人	三戸町消防団 副団長 村井 祥	大鰐町消防団 副団長 三浦 隆彦	五所川原市消防団 副団長 古川 貴浩	青森市青森消防団 副団長 山崎 通美	黒石市消防団 副団長 佐藤 俊政	深浦町消防団 副団長 鈴木 美香	分団長 山下 綾子
-------------------	------------------	--------------------	--------------------	------------------	------------------	-------------------	-----------------	------------------	-----------------	------------------	--------------------	--------------------	------------------	------------------	-----------

急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

消防協会ホームページ



令和8年 青森県 春の火災予防運動

令和8年4月13日(月)から19日(日)までの7日間にわたって、青森県春の火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とするものであり、今年度の全国統一標語は、『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』です。

全国の火災の状況をみると、住宅火災の件数及び死者数は、令和3年以降増加傾向にあります。死者数の内訳として、65歳以上の高齢者が7割を超えており、今後予想される更なる少子高齢化や高齢者単身世帯の増加等を勘案すると、高齢者の人命安全確保は喫緊の課題となっています。

令和7年は、大船渡市、岡山市、今治市などで大規模な林野火災が発生しました。林野火災は例年1月から増加し始め、2月から5月にかけて特に多く発生する傾向があります。春の行楽シーズンを迎え山に入る人が増加するとともに、農作業のため火入れや枯草焼きなどが行われることに伴い、火の不始末や火の粉が山林に飛び火することなどが、火災予防を徹底する必要があります。

各消防団、団員皆様は、こうした火災や災害の状況を踏まえ、重点的に火災対策の推進を行いましょ。



藤崎町



階上町



鶴田町

令和 8 年 新春行事



佐井村



むつ市



むつ市



今別町



新郷村



板柳町



十和田市



外ヶ浜町



三沢市



三戸町



風間浦村



田舎館村



田子町



東通村



横浜町



六戸町



野辺地町



鯨ヶ沢町



平川市



深浦町



おいらせ町



東北町



大間町



弘前市



八戸市



南部町

令和7年度市町村消防団長 事務担当者合同研修会を開催



令和8年1月22日(木)および23日(金)の2日間、八戸市「八戸プラザホテル」において、令和7年度市町村消防団長・事務担当者合同研修会を開催しました。県内各市町村の消防団長および事務担当者ら約75名が参加しました。

本研修会では、「ツキノワグマ」生態と被害防止対策をテーマに、青森県環境エネルギー部自然保護課鳥獣対策グループの三浦純乃氏を講師に迎え講演が行われました。近年、県内ではツキノワグマの出没が相次ぎ、人身被害も発生している状況を踏まえ、山間部での捜索活動や夜間警戒など自然に近い環境で活動する消防団員が適切に対応できるように、正しい知識の習得を目的として実施したものです。

講演では、ツキノワグマの生態や県内の出没・被害状況のほか、遭遇した場合の対処方法、未然に防ぐための備えなどについて解説がありました。

また、「消防団員数の現状と県の団員確保の取組について」と題し、青森県危機管理庁消防保安課副参事の屋崎雪絵氏から説明が行われました。消防団員数が年々減少する中、県における確保対策の一環として消防団を紹介する小冊子を作成していることが紹介され、本年度版では県内消防団員へのインタビューや「あおもり消防団応援の店」の取組も掲載されていることが報告されました。

初日の最後には、青森県消防協会から令和8年度の事業概要について説明を行い、二日目には令和8年度事業予定の詳細を共有しました。

消防団長および事務担当者の理解と協力のもとに協会運営が成り立っていることを改めて確認するとともに、協会事業への理解を深め、今後とも一層の連携のもとに取り組んでいくことの重要性を共有しました。

第31回全国消防操法大会 出場順決定!

令和8年2月27日(金)に開催された都道府県消防協会事務局長会議において、第31回全国消防操法大会の出場順が決定しました。当日は所定の方法による厳正な抽選が行われ、各都道府県の出場順が正式に確定しました。本県はポンプ車の部、22番目の出場隊となります。全体の出場順は左図のとおりです。

第31回全国消防操法大会は、令和8年10月31日(土)、東京都江東区の「東京臨海広域防災公園」において開催されます。全国各都道府県の代表が一堂に会し、日頃の訓練成果を競い合う、消防団にとって最大の規模の大会です。

本県においては、令和8年8月28日(金)に開催予定の青森県消防操法大会が、全国大会出場をかけた予選を兼ねて実施されます。本年はポンプ車の部において、県大会を勝ち抜いた消防団が青森県代表として全国大会へ出場することとなります。

操法訓練は消防技術の向上のみならず、規律や連携を培う重要な機会でもあります。

す。一方で、団員一人ひとりが地域や家庭、職業を持ちながら活動していることを踏まえ、安全面や体調管理にも十分配慮しながら、無理のない体制で取り組むことが求められます。日頃の活動や、日常生活との調和を図りながら、充実した操法訓練が行われることを期待しております。

「あおもり消防団応援の店」 ホームページ機能の拡充

青森県消防協会ホームページ内の「あおもり消防団応援の店」ページに、新たに検索機能を追加しました。

これまでは一覧形式での掲載としましたが、このたび市町村別および店舗ジャンル別で検索ができるようになり、より目的に応じた店舗情報の確認が可能となりました。団員の皆さまが活動地域や利用目的に合わせて、応援の店を探しやすい仕様となっています。

本取組は、消防団員を地域ぐるみで応援する環境づくりの一環として実施しているものです。ぜひホームページにアクセスいただき、日頃の活動の合間に、ぜひ一度ご覧下さい。

第31回全国消防操法大会 出場順

出場順	ポンプ車の部	小型ポンプの部
1	東京都	宮崎県
2	新潟県	茨城県
3	石川県	熊本県
4	宮城県	東京都
5	兵庫県	香川県
6	島根県	静岡県
7	広島県	山形県
8	山梨県	福井県
9	山口県	北海道
10	滋賀県	大阪府
11	千葉県	長崎県
12	福島県	秋田県
13	群馬県	沖縄県
14	愛知県	徳島県
15	京都府	和歌山県
16	愛媛県	栃木県
17	岐阜県	埼玉県
18	奈良県	富山県
19	佐賀県	神奈川県
20	鹿児島県	福岡県
21	岩手県	高知県
22	青森県	長野県
23	大分県	鳥取県
24	岡山県	三重県
	24隊	24隊

※ポンプ車の部の出場順については、奇数が第1コース・偶数が第2コースとなります。

モリタ各種消防ポンプ自動車
トータ各種小型動力ポンプ
キンバイ、消防用各種ホース
消防服、防火衣、刺子外套
コミュニティー防災資機材
防災、防護、消防用品



有限会社 丸栄消機

〒030-0903
青森市栄町一丁目12-1 TEL017-742-1186 FAX741-8931

2022年新型 VF63BS B-2型
VF53BS B-3型

4 STROKE

クラス最軽量 乾燥質量比較(セルスター式)

VF63BS/VF63BS	84.5kg
VC42AS/VC62BS	85.0kg
VC72BS	98.0kg
VF53AS/VF63AS	

TOHATSU

〒174-0051
東京都板橋区小豆沢 3-5-4
03-3966-3115 FAX 03-3966-0090

MORITA MORITA GROUP

普通免許対応車両重量3.5t未満CD-I型 ミラクルLight

アルミ製筒式粉末消火器 アルデシモ

株式会社 モリタ / モリタ宮田工業 株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号
電話 022-238-6461(モリタ 仙台支店)
022-238-4711(モリタ宮田工業 東北営業部)